

第1回 ガントリークレーンの標準化等検討会

議 事 次 第

日時：平成26年12月8日（月）13時30分～15時30分

場所：東海大学校友会館 35F 「三保の間」

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 委員長挨拶
4. 議事
 - (1) 趣旨説明
 - (2) 検討会のスケジュール
 - (3) ガントリークレーンの仕様の現況把握と標準化に向けた検討方針
 - (4) ガントリークレーンの高機能化に向けた検討方針
5. 閉会

ガントリークレーンの標準化等検討会 委員名簿

委員長 阿部 雅二郎 長岡技術科学大学大学院技術経営研究科 教授
委員 西村 悦子 神戸大学大学院海事科学研究科 准教授
委員 上田 春生 一般社団法人日本クレーン協会技術普及部 調査役
委員 日吉 一洋 博多港ふ頭株式会社整備技術部 部長
委員 市村 欣也 三井造船株式会社機械・システム事業本部 課長
委員 吉江 宗生 独立行政法人港湾空港技術研究所 研究計画官

(順不同)

(関係者)

遠藤 仁彦 国土交通省港湾局技術企画課技術監理室長

ガントリークレーンの標準化等検討会について

国土交通省港湾局
技術企画課技術監理室

1. 背景

- ・ガントリークレーンの部品・部位の仕様は、メーカーにより異なる点も多く、維持管理の効率化や予備品の共有化を妨げる一因。また、故障時は長期の部品調達期間を要するため、港湾機能の早期復旧の観点からも課題。
- ・国土交通省港湾局では、平成22年度に、「ガントリークレーンに関する情報共有化推進会議」を開催。維持管理の課題把握を行い、予備品を中心に部品共通化を検討。検討の結果、在庫部品の情報共有化（データベース化）と共に、予備品単体だけではなく、ガントリークレーンの設計・製作段階からの仕様の標準化の必要性を確認。
- ・また、港湾荷役の安全性と効率性の向上による国際競争力の強化のため、仕様の標準化の一環として、海外コンテナターミナルの現況把握に基づき、ガントリークレーンの遠隔操作化等の高機能化についても検討が必要。

2. 検討会における検討事項

(1) 仕様の現況把握と標準化に向けた検討方針

仕様を標準化する意義のある部品・部位、標準化すべき仕様、仕様の標準化を促進する方策等の検討

(2) 高機能化に向けた検討方針

遠隔操作化等の高機能化に向けた技術的課題等の検討

3. 検討会の開催予定(案)

26年12月8日 第1回検討会

27年2月下旬 第2回検討会

検討会のスケジュール・検討フロー

